

ヴァイサラ FD70 前方散乱方式 視程計・現在天気計・ ディストロメータ

VAISALA

Product Spotlight

地上から高層まで、信頼できる航空気象を提供

あらゆる気象状況下において卓越した降水検出感度と信頼性の高い視程計測を提供

人命を守り、空港運営を最適化します。類まれな精度と応答時間の速さにより、豊富な情報に基づいた意思決定を行うことができます。



主な特長

業界標準に完全準拠（ICAO、FAA、WMO の規制）。

トレーサブルな視程と降水の校正連鎖により、正確で信頼できるデータを確保。

高度なソフトウェアセキュリティによる不正アクセスの防止。

モジュラー設計により、修理時間30分未満の簡単なメンテナンス。

計測障害を最小限に抑制する、ロックダウン設計、レンズ汚れ補正機能、飛翔昆虫フィルタリング、高出力ヒーターなどの機能。

包括的なレポートには、視程、現在天気、降水量計測、温度、湿度、雨滴サイズの分布、落下速度の分布、運動エネルギー、レーダー反射率などが含まれます。

独自の前方散乱のシート状光線技術により、着氷性の雨、砂や埃による視程低下、小雨などの状況を正確に判別。

フランジブルマスト構造で、傾きや高さの調整に対応。

ヴァイサラが選ばれる理由

ヴァイサラは45年以上にわたり、航空気象技術の分野におけるパイオニアとして、優れた安全性、効率性、持続可能性を実現するためにさまざまな取り組みを行ってきました。

当社の航空気象ソリューションのパッケージは、世界170カ国以上、2000以上の空港において運用されています。実際、世界中のすべての民間航空機が、その運航過程でヴァイサラの機器による気象観測やセンサの計測値による予報を利用しています。

ヴァイサラは、常にポートフォリオを向上に取り組み、業界の最前線に立ち続け、新たな可能性を追求していきます。

ヴァイサラ FD70は、滑走路視距離（RVR）など視程や現在天気のための業界最高水準の前方散乱センサです。最小規模の雨滴から嵐の終わりに至るまでの降水を100%検出し、空港気象の精度に基準を設定します。

この機器は、視程計・現在天気計、着氷性降水センサ、雨量計など、さまざまな個別センサの機能を凌ぎ、それらと置き換えることが可能で、判別が困難な状況も含めて自動METAR報の信頼性を高めます。先駆的な独自設計により、着氷性の霧雨から砂嵐まで検出する基準器レベルの性能を常に提供します。

30年以上にわたる前方散乱方式の技術開発に基づいているFD70は、幅広い計測項目での妥協のない計測性能、応答時間の速さ、高い信頼性など、お客様に信頼していただいていた主要な機能を提供します。リモートアクセス、自動トラブルシューティング、低メンテナンスにより、性能を最適化しながらライフタイムコストを低く抑えることができます。

あらゆる空港で情報に基づいた安全な運用を維持

最小規模の降水、または着氷性の霧雨や埃などの気象現象を100%正確に判別し、24時間365日喪失することなく検出します。

システムの性能を向上させながら、時間、人材、コストを節約

低メンテナンスである上、明確なメッセージ、遠隔監視機能、自動診断機能とトラブルシューティングにより作業員の作業時間を削減することができます。

ライフタイムコストが低い、統合されたセキュアなセンサネットワークを実現

妥協のない精度と構成可能な設計により、複数のセンサの置き換えやスペアパーツの数を減らすことが可能となり、統合ソフトウェアセキュリティによってデータと計測機器の統合性が維持されます。

用途

- 航空視程およびRVRの評価目的でリアルタイムの視程（MOR）を計測
- 空港と地上気象観測向けに現在天気をモニタリング
- 安全プロトコルを実行するために着氷性降水の分類を判別
- 降水強度と降水量の情報を滑走路のメンテナンスとナウキヤスティングに活用

